

別紙

I. 事業評価総括表 (令和6年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業	柏崎市	146,035,945	50,000,000	
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業	柏崎市	215,317,471	180,000,000	
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業	柏崎市	453,004,729	360,000,000	
4	地域活性化措置	保育園運営事業	柏崎市	561,789,268	485,000,000	
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業	柏崎市	59,326,417	50,000,000	
6	福祉対策措置	老人保護措置委託事業	柏崎市	92,146,573	60,000,000	
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業	柏崎市	53,543,659	50,000,000	
8	福祉対策措置	予防接種事業	柏崎市	125,401,389	65,000,000	
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	産業文化会館管理運営事業	柏崎市	55,556,199	15,319,000	

計

1,762,121,650

1,315,319,000

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市日石町（柏崎市文化会館アルフォーレ）				
交付金事業の概要		文化会館アルフォーレの指定管理料12か月分。 文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定し、「文化活動の広がり」と底上げを図る」、「質の高い活動へと引上げる」及び「市民との連携を強化する」を基本理念とした文化振興事業を展開し、利用者の誘致、拡大を目指すとともに市民の芸術文化活動の振興と発展を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第5章 魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる 2 市民の主体的な文化活動を支援する</p> <p>施策の目標指標：文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人（令和7年度） 目標値：文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人（令和6年度）</p>				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人	文化会館アルフォーレ利用者数	成果実績	人	135,324
				目標値	人	164,220
				達成度	%	82.4%
評価年度の設定理由						
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本交付金の活用により、文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営、効果的な事業を実施することができました。市民の芸術文化活動の振興と発展に寄与しているものと評価します。						

評価に係る第三者機関等の活用の有無						
交付金事業の成果目標及び成果実績	機関名：柏崎市文化会館アルフォーレ運営懇談会 構成員：民間による機関のため委員名等非公表 評価内容：A+（管理が良好であり、特筆すべき実績・成果が認められる）					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	平常に運営できた日 (開館日数)	活動実績	日	306	309	308
		活動見込	日	306	309	308
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	148,506,375	145,710,284	146,035,945	平成28～令和6年度総事業費 1,190,745,428		
交付金充当額	50,000,000	50,000,000	50,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	50,000,000	50,000,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
交付金事業の担当課室	教育委員会文化・生涯学習課					
交付金事業の評価課室	教育委員会文化・生涯学習課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市栄町（柏崎市元気館）			
交付金事業の概要		<p>柏崎市元気館に勤務する保健師等の職員人件費（保健師17名、栄養士3名、歯科衛生士1名、理学療法士1名、保育士3名及び健診担当等職員11名 計36名）12か月分。 本市では、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした、生涯にわたる健康づくりを目指しています。柏崎市元気館においては、元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実等の役割を担い、保健・福祉の総合的な拠点施設として市民に広く認知されています。 本交付金事業では、柏崎市元気館に勤務する保健師等を確保し、安定的な福祉サービスの提供を継続して行うことで、市民の健康維持と福祉の向上を図ります。</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 1 心と体の健康づくりを進める</p> <p>目標：元気館利用者数 29,000人（令和6年度）</p>			
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度	
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		元気館利用者数 29,000人	柏崎市元気館 利用者数	成果実績	32,206
				目標値	29,000
				達成度	111.1%
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>本交付金の活用により、保健・福祉サービスの総合的な拠点施設である元気館で子育て、保健業務に従事するための必要な人員を確保し、安定した施設運営を行うことができました。これにより、令和6年度の利用者は2月末時点で32,206人と目標を上回り、元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実を図り、市民の健康維持と福祉の向上に資することができたと評価します。</p> <p>今後も市民の多様な保健・福祉ニーズに応えるための事業の充実、改善を推進するとともに、必要なマンパワーを確保し、安定した管理運営を行います。</p>					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	無					
	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	平常に運営できた日 (開館日数)	活動実績	日	337	336	336
		活動見込	日	337	336	336
達成度		%	100.0%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	216,987,197	216,681,093	215,317,471	平成28～令和6年度総事業費 1,898,140,847		
交付金充当額	180,000,000	180,000,000	180,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	180,000,000	180,000,000	180,000,000			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
交付金事業の担当課室	福祉保健部健康推進課					
交付金事業の評価課室	福祉保健部健康推進課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市学校町ほか35件			
交付金事業の概要		<p>柏崎市立小中学校及び学校給食共同調理場の管理運営経費（小学校19校、中学校11校、共同調理場6施設）12か月分。学校教育施設は、児童・生徒がその発達段階やそれぞれの状況に応じた、適切かつ最善な教育を受けられるよう教育環境を整えることが求められています。</p> <p>本交付金事業では、学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料を確保し、安定的な学校運営を継続的に行うことで、安全で快適な教育環境づくりの実現と安全・安心な給食を提供し、次世代を担う児童・生徒の健全育成の推進を図ります。</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 3 教育環境を充実させる</p> <p>目標：児童・生徒約4,900人に対し、快適かつ安定的な教育環境の充実を図ります。 目標値：学校給食満足度アンケート「A評価」70%以上</p>			
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和7年度
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		満足度アンケート「A評価」70%以上	共同調理場運営委員会によるアンケート集計値	成果実績	100
				目標値	70
				達成度	142.9%
		評価年度の設定理由			
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。 交付金事業の定性的な成果及び評価等					
学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料に本交付金を充当することにより、対象36施設において安定的な施設運営と安全・安心な学校給食の提供を行うことができました。原油価格高騰に伴う光熱水費高騰に見舞われながらも当初予定通りの学校運営日数や給食提供回数の確保ができました。このように適正な学校教育環境を提供し、年間延べ1,072,018食の安全・安心な給食提供を行ったことは柏崎の次世代を担う児童・生徒約4,900人の健全育成の推進に寄与できたものと評価します。					

評価に係る第三者機関等の活用の有無						
交付金事業の成果目標及び成果実績	機関名：学校給食共同調理場運営委員 構成員：小中学校長、PTA役員、保健所長、学識経験者等10名 評価内容：運営委員を対象とした学校給食満足度アンケートではA評価80%となり目標を上回る評価を得ています。					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	学校教育施設を平常に運営できた日（稼働日数）	活動実績	日	209	206	206
		活動見込	日	209	206	207
		達成度	%	100.0%	100.0%	99.5%
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	共同調理場を平常に運営できた日（最大稼働日数）	活動実績	日	202	203	202
		活動見込	日	202	203	202
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	提供食数（対象児童生徒数×給食回数）	活動実績	食	1,133,478	1,128,409	1,072,018
		活動見込	食	1,177,053	1,125,915	1,116,837
		達成度	%	96.3%	100.2%	96.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	487,845,825	453,536,583	453,004,729	平成28～令和6年度総事業費 3,946,467,825		
交付金充当額	370,000,000	360,000,000	360,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	370,000,000	360,000,000	360,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
学校給食業務委託	随意契約（技術提案）	株式会社メフォス		179,124,000		
		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		100,821,600		
電気使用料	随意契約	柏崎あい・あーるエナジー株式会社		101,724,558		
ガス使用量	随意契約	北陸ガス株式会社		38,927,931		
LPG使用料	随意契約	株式会社ジェイエイサービス柏崎		3,441,142		
		株式会社サイサン		19,217		
水道・下水道料	随意契約	柏崎市上下水道局		28,946,281		
交付金事業の担当課室	教育委員会教育総務課					
交付金事業の評価課室	教育委員会教育総務課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	地域活性化措置	保育園運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎保育園）ほか12件				
交付金事業の概要		<p>公立保育園の正規職員人件費114名（13園、保育士94名・調理員20名）12か月分。 本市では、少子化の進行や保護者の就労環境の変化等に伴い、子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、保育園が市民の多様な育児ニーズに応える施設として果たす役割は大きく、適正なマンパワーの確保による安定した運営が求められます。 本交付金事業では、公立保育園に勤務する正規職員を確保し、安定的な保育サービスの提供を継続的に行うことで、多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる</p> <p>目標値：公立保育園定員充足率67.1% ※公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員</p>				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		公立保育園定員充足率 67.1%	公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員	成果実績	%	60.4
				目標値	%	67.1
				達成度	%	90.0%
評価年度の設定理由						
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、公立保育園に勤務する正規職員114名の人件費を確保し、安定的な保育サービスを提供することができました。このことにより、園児や保護者にとって安全・安心な保育環境が提供できたものと評価します。次年度も多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	無					
	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	保育士・調理員の雇用量 (延べ交付金対象月数)	活動実績	人	1,342	1,180	1,268
		活動見込	人	1,429	1,320	1,368
達成度		%	93.9%	89.4%	92.7%	
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	537,707,376	536,862,713	561,789,268	平成28～令和6年度総事業費 5,122,179,343		
交付金充当額	510,000,000	500,000,000	485,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	510,000,000	510,000,000	485,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		
保育士・調理員人件費		雇用		保育士94名・調理員20名		
				561,789,268		
交付金事業の担当課室	子ども未来部保育課					
交付金事業の評価課室	子ども未来部保育課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市		
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎小学校）ほか14件		
交付金事業の概要	市立小学校15校に配置する特別支援学級介助員（34名）の報酬11か月分及び通勤に係る費用弁償9か月分。本市では、発達障害や知的障害、肢体不自由等のある児童が増加傾向にあり、特別支援学級における教育的な支援のニーズが高まっています。 本交付金事業では、特別支援学級に配置する介助員を確保し、安定した教育的支援の充実を継続的に行うことで、児童の健全育成を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる</p> <p>目標： 特別支援学級に介助員を配置することにより、日常生活動作の取得支援、学習活動の支援、機能訓練の補助等の個に応じた細やかな教育的支援を行い、児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。</p>			
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度	
事業期間の設定理由	柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度
	児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。	—	成果実績	—
			目標値	—
			達成度	—
評価年度の設定理由				
毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>特別支援学級介助員34名を確保できたことにより、特別な教育的支援を必要とする児童の心理的安定、個に応じた指導・支援の充実を図り、児童の健全育成の推進に資することができたと評価します。また、担任と連携を図り、児童との信頼関係を築くことができました。</p> <p>発達障害等への理解が進んでいること、特別支援学級に在籍する児童の障害の程度や様子が様々であること等から、学校での教育活動全般における個に応じた支援がこれまで以上に求められています。こうした中、特別支援学級介助事業に本交付金を充当することにより、各小学校特別支援学級における個に応じた指導・支援の充実や、より適切な就学環境の確保が図られたと考えます。</p>						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	特別支援学級介助員の雇用量 (年度雇用人数×11か月)		活動実績	人月	407	396	374
			活動見込	人月	407	396	374
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
令和4年度		令和5年度	令和6年度	備考			
総事業費	62,475,944	62,517,176	59,326,417	令和2～令和6年度総事業費 302,362,933			
交付金充当額	50,000,000	55,000,000	50,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	50,000,000	55,000,000	50,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		特別支援学級介助員34名		59,326,417	
交付金事業の担当課室		教育委員会学校教育課					
交付金事業の評価課室		教育委員会学校教育課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
6	福祉対策措置	老人保護措置委託事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市	
交付金事業実施場所		柏崎市大字上田尻（養護老人ホーム御山荘）ほか3件	
交付金事業の概要	<p>在宅生活が困難な高齢者を支援する養護老人ホーム入所措置委託料11か月分。 養護老人ホームは、「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を支援する入所措置施設であり、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境が求められています。 本交付金事業では、養護老人ホームの入所措置委託料を確保することで、安定した事業運営を行い、養護を必要とする高齢者を適切に措置し、生活の安定と心身の健康保持を図り、加えて、地域の高齢者福祉の向上を図ります。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する法令 老人福祉法第11条第1項</p> <p>交付金事業に関する主要施策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる 2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる</p> <p>目標： 「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置することで、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境の確保を行い、生活の安定と心身の健康保持を図ります。また、本事業が地域社会における高齢者支援のセーフティネットとしての役割を果たすことで、地域の高齢者福祉の向上を図ります。</p>		
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由	柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度	
	措置者の生活の安定と心身の健康保持を図ります。	—	成果実績	—	—	—	
			目標値	—	—	—	
			達成度	—	—	—	
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本事業が地域社会における高齢者支援のセーフティネットとして役割を果たし、地域の高齢者福祉の向上を図ることができました。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	養護老人ホームへの措置人数		活動実績	人	53	43	36
			活動見込	人	55	55	46
			達成度	%	96.4%	78.2%	78.3%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
総事業費	119,401,390	112,920,171	92,146,573	平成28～令和6年度総事業費 1,051,327,902			
交付金充当額	70,000,000	65,000,000	60,000,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	70,000,000	65,000,000	60,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
老人保護措置委託		随意契約		社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会、社会福祉法人 愛光会、社会福祉法人 光道園、社会福祉法人 龍宮荘		92,146,573	
交付金事業の担当課室		福祉保健部介護高齢課					
交付金事業の評価課室		福祉保健部介護高齢課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円			
交付金事業の概要		<p>高齢者インフルエンザ予防接種業務委託料4か月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する高齢者インフルエンザ予防接種事業においては、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払う形で高齢者の被接種者負担金の一部を補助し、接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。 また、本事業は市民に広く認知され例年一定の需要がある中、今後は高齢化の進行に伴う事業費の増加が見込まれ、継続的に安定して事業を実施する財源の確保が求められます。 ついては、本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、高齢者の感染症り患、まん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 1 心と体の健康づくりを進める</p> <p>目標：高齢者インフルエンザ予防接種率 60%（令和6年度）</p>			
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和7年度
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和6年度
		高齢者予防接種率60%	高齢者予防接種率：接種者数÷接種対象者×100	成果実績	52.3
				目標値	60.0
				達成度	87.2
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、高齢者インフルエンザ予防接種の安定した運用を行うことができました。令和6年度の予防接種率は52.3%と目標に至りませんでした。予防接種に加えて手洗いやマスク着用など基本的な感染症対策が万全に行われたこともあり、重篤な症状になりやすい高齢者のインフルエンザり患、まん延を防止し、健康的な市民生活を確保することができたと評価します。目標を達成できなかった要因は、新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、インフルエンザへの警戒心が低下したためと考えています。今年度10月から新型コロナウイルス定期接種が開始されたため、これまで以上に関係機関と連携を図り、効果的な感染症対策を行うことで高齢者の健康保持に努めていきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	高齢者インフルエンザ予防接種数（広域的予防接種（新潟県医師会）及び予診のみ含む）	活動実績	箇所	16,138	15,204	14,393
		活動見込	箇所	16,615	16,547	16,503
		達成度	%	97.1%	91.9%	87.2%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	58,698,395	55,366,684	53,543,659	令和4～6年度総事業費 167,608,738		
交付金充当額	55,000,000	55,000,000	50,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	55,000,000	55,000,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
高齢者インフルエンザ 予防接種業務委託		随意契約		柏崎・刈羽管内医療機関43者		53,543,659
交付金事業の担当課室	福祉保健部健康推進課					
交付金事業の評価課室	福祉保健部健康推進課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
8	福祉対策措置	予防接種事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要		<p>定期予防接種業務委託料11か月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する定期予防接種は、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払うことで全額公費負担により実施し、接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。また、本事業は市民に広く認知され、少子化に伴い予防接種費用の増額も見込まれる中で継続的に事業実施するための財源確保が求められます。本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる</p> <p>目標：予防接種率100%</p>				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		予防接種率 60%	接種者数÷接種対象者×100	成果実績	%	71.6
				目標値	%	100.0
				達成度	%	71.6%
評価年度の設定理由						
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>本交付金の活用により、定期予防接種を安定して実施することができました。令和6年度は、積極的勧奨を控えていた期間の対象者が接種を受けられる「キャッチアップ接種」の最終年度となるため、広報誌への記事の掲載や個別案内通知の発送を行い市民への周知を実施し、接種者数は当初の想定を超え、接種を希望される方が十分に接種できたと考えます。今後も、関係機関と連携して安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで、健康的な市民生活を目指していきます。</p>					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	定期予防接種数 (予診のみ含む)	活動実績	件数	9,834	10,062	9,331
		活動見込	件数	12,475	14,049	9,801
		達成度	%	78.8%	71.6%	95.2%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	98,148,105	105,261,836	125,401,389	令和4～6年度総事業費 328,811,330		
交付金充当額	65,319,000	80,000,000	65,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	65,319,000	80,000,000	65,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
定期予防接種業務委託		随意契約		柏崎刈羽管内の25医療機関		125,401,389
交付金事業の担当課室	子ども未来部子育て支援課					
交付金事業の評価課室	子ども未来部子育て支援課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	産業文化会館管理運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市駅前二丁目（柏崎市産業文化会館）				
交付金事業の概要		産業文化会館の指定管理料12か月分。 産業文化会館の安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定し、「産業の振興と市民生活の向上、教育、文化の発展に寄与」を目的とし、利用者の誘致、拡大を目指すとともに市民生活の向上と発展を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第5章 魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる 2 市民の主體的な文化活動を支援する 施策の目標指標：産業文化会館利用者数 75,700人（令和7年度） 目標値：産業文化会館利用者数 75,700人（令和6年度）				
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		産業文化会館利用者数 75,700人	産業文化会館利用者数	成果実績	人	56,547
				目標値	人	75,700
				達成度	%	74.7%
評価年度の設定理由						
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、産業文化会館の安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業を実施することができました。利用者の総合評価で9割が「満足」又は「まあ満足」とし、自主事業においても満足度93%と高い評価を得ていることから、産業の振興及び教育並びに文化の発展に寄与しているものと評価します。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	平常に運営できた日 (開館日数)	活動実績	日	347	347	326
		活動見込	日	347	347	326
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	56,102,654	55,369,707	55,556,199	令和3～令和6年度総事業費 219,483,560		
交付金充当額	0	15,319,000	15,319,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	0	15,319,000	15,319,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
交付金事業の担当課室	教育委員会文化・生涯学習課					
交付金事業の評価課室	教育委員会文化・生涯学習課					

別紙

I. 事業評価総括表 (令和6年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業	柏崎市	52,954,000	50,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	宝田北斗町線整備事業	柏崎市	112,047,100	100,000,000	
3	地域活性化措置	災害対策用蓄電池導入事業	柏崎市	17,223,800	15,000,000	
計				182,224,900	165,000,000	

様式第8（第22条関係）

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円（市道柏崎7-3号線ほか）			
交付金事業の概要		除雪ドーザ8t級2台、除雪ドーザ11t級1台の更新。 生活に身近な冬期間の道路交通を確保するため、本交付金を活用し、老朽化した除雪ドーザ等除雪機械の更新を行い、安定した道路除雪体制の構築に努めます。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 2 安全な道路網を確保する</p> <p>施策の目標指標： 除雪機械の更新台数（累計）現在値 73台（令和3年度） → 目標値 95台（令和7年度）</p> <p>目標値： 冬期間における快適な市民生活と社会経済活動を維持するため、安全で安心な道路交通を確保する必要があり、計画的に除雪機械を更新することにより、除雪体制を維持して認定除雪路線の除雪率100%を成果目標とする。</p>			
事業開始年度		令和6年度	事業終了（予定）年度		令和6年度
事業期間の設定理由		—			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		冬期間において安全で安心な道路交通を確保する	令和6(2024)年度に認定する除雪路線に対する除雪車の配車率	成果実績	100
				目標値	100
				達成度	100

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、老朽化した除雪ドーザ8t級2台、除雪ドーザ11t級1台の更新を行い、道路除雪能力（作業効率）が向上されたところから、次年度以降の冬期間道路交通の安全確保を図ることができました。今後も老朽化した除雪機械の更新を行うことにより、劣化や老朽化に起因する故障や作業能力の低下によって発生する除雪時の交通障害を無くし、市民生活に必須である冬期間道路交通の更なる安全確保を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	除雪機械更新台数	活動実績	台	3	3	3
		活動見込	台	3	3	3
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	67,364,000	88,638,000	52,954,000	令和4～令和6年度総事業費 208,956,000		
交付金充当額	50,000,000	30,000,000	50,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	50,000,000	30,000,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	除雪ドーザ(8 t 級)	指名競争入札	(株) 柏新商会	32,054,000		
	除雪ドーザ(11 t 級)	指名競争入札	(株) 柏新商会	20,900,000		
交付金事業の担当課室	都市整備部道路維持課					
交付金事業の評価課室	都市整備部道路維持課					

様式第8（第22条関係）

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	宝田北斗町線整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市宝田、美穂田、東柳田				
交付金事業の概要		柏崎市街地の交通渋滞の緩和等を目的に、国道8号柏崎バイパスを中心とした幹線道路ネットワークの整備が進められています。中心市街地と国道8号柏崎バイパスを繋ぐ重要な路線である本路線を、国道8号柏崎バイパスの供用開始に合わせ整備します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4（2022）年度～令和7（2025）年度） 第3編 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する</p> <p>目標値：都市計画道路の改良率 70.5% （令和5年3月現在：69.4% 柏崎市の都市計画より）</p>				
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度	令和9年度		
事業期間の設定理由		令和9年度の完成を予定しているため				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和9年度
		都市計画道路の改良率 70.5%	改良延長÷ 全延長	成果実績	%	-
				目標値	%	70.5
				達成度	%	-
評価年度の設定理由						
成果実績を測定し次第、評価を実施。						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	-						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度まで	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率		活動実績	%	21.7%	3.8%	12.3%
			活動見込	%	21.7%	3.9%	12.3%
			達成度	%	100.0%	97.4%	-
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度			備考	
総事業費	197,236,018	34,720,400	112,047,100			令和2～令和6年度 総度事業費 406,582,518	
交付金充当額	195,000,000	20,000,000	100,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	195,000,000	20,000,000	100,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
軟弱地盤対策工事		制限付き一般競争入札		大和運送建設（株）		112,047,100 円	
交付金事業の担当課室		都市整備部都市計画課					
交付金事業の評価課室		都市整備部都市計画課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	地域活性化措置	災害対策用蓄電池導入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		町内会200か所				
交付金事業の概要		災害時の停電対応において、現在保有しているポータブル蓄電池に加え、更なる広域的な配備を行うためポータブル蓄電池を購入し、市内町内会施設等200か所へ配備する。これにより停電時にもスマートフォンの充電や緊急告知ラジオの利用などを可能とする環境を構築することでレジリエンスの強化を図る。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる 3 防災や危機管理機能を高める</p> <p>目標：「柏崎市地域防災計画」は最新の知見を取り入れ、実情に即した防災体制の強化に取り組みます。なお、令和5年度の地域防災計画において、第2章第12節電力施設等災害予防計画 - 3災害対策用資機材等の確保に、ポータブル蓄電池等の資機材に関する支援を明記した。</p>				
事業開始年度		令和6年度	事業終了（予定）年度		令和6年度	
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
		防災体制の強化	—	成果実績	—	—
				目標値	—	—
				達成度	—	—
		評価年度の設定理由				
		単年度事業であり、令和6年度で購入・配備を行うため				
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
災害が発生する前にポータブル蓄電池を各町内会に事前配布することができたため、停電時における安定的な電力供給が可能となり、災害に備えた環境整備を構築することができた。これによりレジリエンスの強化を図ることができたものと評価する。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度		
	ポータブル蓄電池導入台数	活動実績	台	200		
		活動見込	台	200		
		達成度	%	100.0%	—	—
交付金事業の総事業費等	令和6年度				備考	
総事業費	17,223,800					
交付金充当額	15,000,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	15,000,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	ポータブル蓄電池購入	指名競争入札	株式会社イシザカ	17,223,800		
交付金事業の担当課室	危機管理部防災・原子力課					
交付金事業の評価課室	危機管理部防災・原子力課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	田尻保育園整備事業	柏崎市	681,180,900	400,000,000	

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	田尻保育園整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市大字安田				
交付金事業の概要		<p>田尻保育園 園舎改築1棟及び子育て支援室新築1棟（2か年工事の2年目）。</p> <p>田尻保育園の老朽化が進んでいることから、近隣の三ツ家農村公園の敷地に田尻保育園を移転改築し、子育て支援室を新築します。将来にわたり安心して保育ができる施設環境を整備し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくります。</p> <p>田尻保育園の移転改築により、近隣の保育園との将来的な統合の検討が可能になることで園児数が増加し、集団の中で園児の成長を支援する機能を十分に発揮することができるため、更なる保育の質の向上が望めます。</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる</p> <p>目標値：田尻保育園を移転改築し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくる。 移転改築後の園児数 200人</p>				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和6年度		
事業期間の設定理由		-				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		移転改築後の園児数200人	移転改築後の入園児数	成果実績	人数	200
				目標値	人数	200
				達成度	%	100.0%
		評価年度の設定理由				
成果実績を測定し次第、評価を実施。						
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>本交付金の活用により、老朽化した保育園及び子育て支援室の新設工事を実施し、令和6（2024）年7月12日に2か年による改築工事が完了しました。</p> <p>本年度は、建築本体工事40%（100%）、機械設備77%（100%）及び電気設備97%（100%）を確保しました。</p> <p>新園舎の完成により、安心して保育ができる施設環境を整備することができ、更なる保育の質の向上を図れるようになりました。また、受け入れられる園児数が増加したことにより、近隣保育園との統合が可能になり、集団の中で園児の成長を支援する機能を十分に発揮できるようになりました。</p>						

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業進捗率	活動実績	%	2.8%	38.1%	59.1%
		活動見込	%	2.8%	38.1%	59.1%
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	32,375,200	438,420,000	681,180,900	令和4～6年度総事業費 1,151,976,100		
交付金充当額	20,000,000	400,000,000	400,000,000			
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	20,000,000	400,000,000	400,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
田尻保育園（建築本体）工事		制限付一般競争入札		（株）阿部建設		820,240,300
田尻保育園（機械設備）工事		制限付一般競争入札		日新設備工業（株）		157,162,500
田尻保育園（電気設備）工事		制限付一般競争入札		（株）協同電設		142,198,100
交付金事業の担当課室		子ども未来部保育課				
交付金事業の評価課室		子ども未来部保育課				

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	公共施設維持補修事業基金造成事業	柏崎市	30,000,000	30,000,000	
2	福祉対策措置	医療施設等整備費補助事業基金造成事業	柏崎市	60,000,000	60,000,000	
3	企業導入・産業活性化措置	柏崎市産業団地等整備推進事業基金造成事業	柏崎市	40,000,000	40,000,000	
計				130,000,000	130,000,000	

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	公共施設維持補修事業基金造成事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円			
交付金事業の概要		柏崎市内の市道維持補修事業。 市内全域の生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高めるため、老朽化の進んだ道路及び道路側溝を更新し、排水不良による水溜りの解消を図ります。 本交付金を活用し、令和6年度以降に実施する事業に係る基金造成を行います。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 基本構想・前期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する 目標：生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高める			
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度		令和7年度
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高める	—	成果実績	件	—
			目標値	件	—
			達成度	%	—
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本交付金の活用により、道路補修工事（施工延長L=216m）、側溝補修工事（施工延長L=141m）の計6件の修繕工事を完了することができました。 施工箇所については、適切な工事設計及び適正な施工管理を行い、工事を滞り無く実施したことで、沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高め、道路交通の安全性を確保することができました。引き続き、道路状況の把握に努め、必要な修繕を進めてまいります。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	基金造成額		活動実績	円	30,000,000	30,000,000	30,000,000
			活動見込	円	30,000,000	30,000,000	30,000,000
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
総事業費	30,000,000	30,000,000	30,000,000				
交付金充当額	30,000,000	30,000,000	30,000,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	30,000,000	30,000,000	30,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額			
市道柏崎7-202号線道路補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(有)開成工業	5,020,400			
市道柏崎16-81号線側溝補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(株)日総サービス	3,647,600			
市道柏崎7-8号線道路補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(株)新生建設	3,903,900			
市道柏崎4-32号線道路補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(株)中澤組	7,915,600			
市道柏崎9-135号線側溝補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(株)藤林建設	6,432,800			
市道柏崎5-101号線道路補修(ゼロ市債)工事		一般競争入札	(株)柏崎設備工業	7,106,000			
交付金事業の担当課室		都市整備部道路維持課					
交付金事業の評価課室		都市整備部道路維持課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	福祉対策措置	医療施設等整備費補助事業基金造成事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円			
交付金事業の概要		医療機関の持続的な運営と医療の質を担保し、地域完結型の医療体制を堅持するため、医療施設や機器の整備費に対する補助制度を設け、柏崎市内の医療機関を支援しています。地域医療を堅持していくためには、最先端の医療機器への入替を進める必要がありますが、高額であり、これまで以上に支援を強化していくことが求められるため、現行補助制度の拡充を行います。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 2 安心できる医療体制を堅持する</p> <p>目標：市民が安心できる医療体制を確保し、地域福祉の向上を目指す</p>			
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和9年度
事業期間の設定理由		医療施設等整備費補助事業基金事業計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		市民が安心できる医療体制を確保し、地域福祉の向上を目指す	成果実績	件	—
			目標値	件	—
			達成度	%	—
交付金事業の成果目標及び成果実績		評価年度の設定理由			
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。			
		交付金事業の定性的な成果及び評価等			
		本交付金を活用して基金造成することにより、医療機器の整備を行う財源を確保することができました。地域医療堅持のために、救急医療、災害医療及びがん診断等の診療部門の維持並びに医療人材確保のため、計画的かつ継続的に医療機器の新設や更新を進めていきます。			
		評価に係る第三者機関等の活用の有無			
		無			

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	基金造成額		活動実績	円	30,000,000	50,000,000	60,000,000
			活動見込	円	30,000,000	50,000,000	60,000,000
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
総事業費	30,000,000	50,000,000	60,000,000				
交付金充当額	30,000,000	50,000,000	60,000,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	30,000,000	50,000,000	60,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
病院群輪番制病院設備整備補助事業		一般競争入札	独立行政法人国立病院機構 新潟病院		23,347,000		
病院群輪番制病院設備整備補助事業		随意契約	新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター		20,350,000		
交付金事業の担当課室		福祉保健部国保医療課					
交付金事業の評価課室		福祉保健部国保医療課					

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	企業導入・産業活性化措置	柏崎市産業団地等整備推進事業基金造成事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市鯨波地内				
交付金事業の概要		産業団地造成に係る基金造成事業。 令和3年に市内産業団地が完売になったため、まとまった産業団地の確保が急務となっています。翌令和4年に「柏崎市企業立地適地調査」を実施し、本調査結果を踏まえ「柏崎市鯨波産業団地整備基本構想」を策定しました。基本構想を基に「基本設計」、「実施設計」、「造成工事」と産業団地造成事業を具現化するため、本交付金を活用し、事業に係る基金造成を行います。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第2章 産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『豊かな』暮らしを支える多様な働く場をつくる 3 企業誘致を進める 目標：産業団地の整備をすることで、企業参入、産業活性化を目指す				
事業開始年度		令和6年度	事業終了（予定）年度		令和12年度	
事業期間の設定理由		柏崎市産業団地等整備推進事業基金事業計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		産業団地の整備をすることで、企業参入、産業活性化を目指す	—	成果実績	件	—
				目標値	件	—
				達成度	%	—
交付金事業の成果目標及び成果実績		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		令和7年度より始める「柏崎市鯨波産業団地」整備に向け、本年度中の財源確保により、令和7年度当初からスムーズな業務発注ができることとなった。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	
	基金造成額		活動実績	円	40,000,000
			活動見込	円	40,000,000
			達成度	%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和6年度				備考
総事業費	40,000,000				
交付金充当額	40,000,000				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	40,000,000				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法		契約の相手方	
-		-		-	
契約金額		-			
交付金事業の担当課室		産業振興部ものづくり振興課			
交付金事業の評価課室		産業振興部ものづくり振興課			